

飯館中 × ^{はやどおり}早通中 × 栄光学園 × 上智大 **交流**
ぼくたちに、できること。



▲それぞれの地域での取り組み、現状と課題ついて、「学生」の視点から積極的な話し合いを行いました

学生の視点から考える地域づくり

8月9日、飯館中学校仮設校舎で、飯館中学校、新潟市立早通中学校、私立栄光学園（神奈川県／中高一貫校）、上智大学の生徒・学生が、夏休みを活用した交流会を行いました。会では、「学生ができること」を中心にした町づくり・村おこしなどをテーマに交流が行われました。

はじめに、飯館中学校の田植え踊りや民話紙芝居制作、早通中学校の「中学生が作る防災マップ」などふるさと教育の取り組みが紹介されました。会の後半には、班に分かれて「学生が、地域にできること」をテーマに、それぞれの視点から地域づくりについて議論を交わしました。大谷結美さん（飯館中3年）は、「村内だけでなく、村外の人と交流することの大切さを感じました。今の村民や観光客のことだけでなく、これからの村をどうしたいのかをしっかりと考えるべきだと感じました」と感想を話しました。



▲早通中学校歌をアレンジした早中総踊りが披露されました

～ 学生が考える地域づくり。声をご紹介します！～

- 地域に伝わる伝統に触れる機会を、お祭りや地域行事を通して増やしていく。
- 学生が月1回、地域の名産品などを売り、情報を発信していく。
- 郷土料理や、地域オリジナルメニューを開発してPRする。
- 防災について、防災マップをもって実際に歩いて確かめるなど、学生ができることを日々行っていく。



▲獅子舞で子どもたちの健康を祈りました



▲うちわであおいで、風おこし！キラキラ笑顔がまぶしい☆

おめでたや！おめでたや！
すすすすく夏の陣

8月2日、子育て支援センター1号館で夏祭りが行われ、親子16組が、保育園や幼稚園で遊び教室などを行っている多田純也さんと親子遊びで楽しいひと時を過ごしました。

集まった親子は、夏祭りにぴったりのねじり鉢巻きや法被を身に着けて、全員で太鼓を演奏するなど日本の夏を楽しんでいる様子が見られました。

この日初めて獅子舞を見た細杉妃花瑠さん（1才）は涙顔。母親の早希さんは「獅子舞を見たのが初めてで泣いてしまいました」と感想を話しました。



▲教室では、射的や輪投げコーナーが大盛況！

8月19日、飯館中学校仮設校舎において、村PTA連絡協議会と「おやじプロジェクト」が合同で、「いいたてっ子夏祭り」を開催しました。この祭りは今年で3回目。保護者らが中心になり、「子どもたちに笑顔！」と開催を続けてきました。

この日は、流しそうめんや水ヨーヨーつりコーナーで夏のひと時を存分に楽しむ子どもたちの姿が見られました。また、祭りには、地元・飯野町の子どもたちも訪れ、盆踊りなどに参加し交流を深めました。菅野拓真くん（飯館小4年）は「友達がたくさん来ていて楽しい。かき氷がおいしかった」と笑顔を見せていました。



夏の思い出
いいたてっ子夏祭り